

学生からのメッセージ
FROM STUDENTS

主将としての覚悟

増田 貴也

福岡歯科大学 第4学年



皆さんこんにちは。サッカー部の主将を務めておりました、福岡歯科大学4年の増田です。今年の8月、コロナ禍で中止を余儀なくされていた全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)が4年ぶりに開催されました。

サッカー部はオールデンタル優勝を目標に掲げて日々の練習を頑張ってきました。今年の4月から部活動を再開し、5月にかけて毎週のように練習試合を組みました。しかし、練習試合では「勝もすることができませんでした。先輩から「この敗因は、増田がキャプテンとしてチームをまとめていないから」と言われました。リーダーシップが無いのは、私自身が一番わかっていました。その言葉が悔しくて、「俺のチームにしたるわ!」という気持ちになりました。がむしろにチームと向き合い、私がチームの先頭で走るとみんなが付いてきてくれました。その結果、福岡杯(九州の歯学部医学部全体を集めた大会)で優勝、オールデンタルでは8位入賞しました。最後となるデンタルでは、優勝という目標に届かず悔やまれる結果となりました。

先輩は色々と言ってくるし、後輩は個性が強いし、このチームをまとめるのは正直大変でした。でも、サッカーになるとみんな本気で取り組む最高のメンバーでした。私に付いてきてくれたことに感謝しかありません。先輩の分も来年は絶対にオールデンタル優勝します!



保護者からのメッセージ
FROM PARENTS

「絆」を育みましょう!

渡邊 知英

福岡歯科大学 学生後援会副会長



新型コロナウイルス感染症も5類となり行動制限も緩和され、クラブ活動、オールデンタル、県人会や地区人会等々4年ぶりに開催されています。

私も所属していたクラブのデンタル壮行会にOBとして、長崎県人会の新入生歓迎会に長崎県同窓会の会長として参加させていただきました。

横の繋がりはコロナ禍でも育むことは可能だったと思いますが、縦の繋がりは、こういった会や活動で培われるものだと思います。先輩後輩の絆を深めることは、自身にとって現在から将来に至るまでプラスに働き続けるものだと思います。県人会に参加した時に聞いたのですが、その日に都合が悪く、参加しないのではなく、県人会に加入しない学生が居るとのこと。卒業しても出身県には帰らないと決めているなら仕方ないと思いますが、そうでなければ、出身県の輪に入っておくことをお勧めします。そして、歯科医師になった暁には同窓会にも必ず入会してください。その絆は貴方の支えになるはずですよ。

New Sophia
コラム

ナデシコ

なでしこジャパンが躍進を続けている。2004年から使われているその名の由来は、アテネオリンピックアジア予選まで遡る。女子サッカーの日本代表に愛称を付けたら認知度が高まるのではと、日本サッカー協会の女性スタッフが提案したことによるといいます。2011年にはFIFAワールドカップで優勝して、一躍その名が広まった。

なでしこは日本にも自生するカワラナデシコ(Dianthus superbus var. longicalycinus)の異名で、秋の七草の一つである。細かく裂けた花弁の先が風に揺れる姿はすこぶる優雅で、とても野生種とは思えない。

枕草子にも「草の花はなでしこ 唐のはさらなり やまものもいとめでたし」と登場し、千年前から賞美され、園芸品種として改良が進められていることが分かる。なでしこジャパンが海外修行を経た選手を迎えて、その力を増しているがごとし。

(内藤 徹)



編集後記

色彩あふれる紅葉の美しさに心弾む季節となりました。芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋、そして読書の秋...、読者の皆様はどんな秋をお過ごしでしょうか。学園は夏休みが終わり、活気が戻ってきました。第120号はそんな学園の各種情報満載でお届けします。秋の夜長にごゆっくりお楽しみください。